

くらしき心ほっとサポート心ほっとサポートサポーター活躍しています!!

くらしき心ほっとサポーター 1期生 小川瑞江 藤岡晴美
3期生 三宅孝子
6期生 亀岡教子

くらしき心ほっとサポートとは?

一市民として精神障がいに対する良き理解者としての立場から、心の健康づくりの推進や精神障がいに対する偏見を減らすため行政と協働で啓発に努めていただく方のことです。

こころの健康づくり講座(in 豊洲中央憩いの家)を開催しました

平成29年1月

- 参加者 地区社協・愛育委員・民生委員・支援学校の先生 など
- 内容 岡山マインドころをお招きしました。
- 精神障がいの当事者の方による素敵なお歌と、病気のエピソードを聞きました。
- 印象に残ったことは「精神障がい者をひとくくりで見たくて欲しくない」という言葉でした。
- 精神障がいについて理解が深まったのではないかと思います。
- 今後も、できることを無理せずやっていこうと思います。

～人と人がふれあふあたたかいまち 粒江学区を目指して～

ママと赤ちゃんの集い!

粒江学区主任児童委員 七田 ゆかり

粒江地区の皆さん、粒江ふれあい赤いちゃんサロンをご存じですか。スタート2年目になります。愛育委員・保健師さん・子育て支援センター・新田・子育て支援センター・天城の先生・民生委員・更正保護女性会と力を合わせて運営している子育てをがんばっているママたちを応援するサロンです。

毎月第一木曜日の午前10時から11時30分、中洲集会所(倉敷市粒江)で開催しています。

対象は0歳から2歳未満の子どもと保護者の方、妊婦さんもOKです。参加費は無料です。毎回季節にあわせて楽しいお歌遊び、工作が体験でき、七夕やクリスマス、マスカットなど盛りだくさんです。

「ママさんのお友達が見たい」「子どもの楽しそうな笑顔が見たい」と思っているお母さん、ぜひ気軽に遊びに来てください。心よりお待ちしております。



問い合わせ先 小川 ☎090-9465-9061
吉田 ☎090-8996-3725

粒江地区社協だより

第18号
2017.3/25

発行
粒江地区社会福祉協議会

“お困り高齢者応援会議”を しています!

粒江にはいくつになっても元気ではつらつと生活している方がたくさんおられます。その中にも、高齢化は進み(65歳以上人口割合28.3%)、独居や高齢者のみの世帯も増えてきました。病気や認知症などで日常生活に困りごとが増えても、介護保険や市のサービス、家族の支援だけでは安心して暮らせない方もおられます。

そんな個々の困りごとの解決に向けて、関係者、専門職、地域の方、高齢者支援センター等が集まり話し合う場を持っています。それが、「お困り高齢者応援会議」です!

これまで、今にも転倒しそうな一人暮らしの方や、地域とのつながりを拒否する方、迷子になる可能性が高くなってきた認知症の方のことがテーマに挙がりました。応援することとして、ご近所や地域の役の方などにご本人を見かけた時は優しく声をかけてもらったり、民生委員や愛育委員、仲の良い人が訪問しながら信頼関係を築いたり、緊急事態の時はすぐ110番する等々を話し合いで決め、応援してきました。



一人一人のお困りごとでも、粒江全体の課題と考えられる時は、地区社協で取り組みができるよう考えられていきます。いつまでも地域で安心して暮らせるよう、皆さまも応援よろしくお願ひします!

地域の高齢者の方についての相談はこちらへ
(倉敷市委託事業) 倉敷市倉敷南高齢者支援センター
倉敷市粒江5500-1 (浮洲園内)
電話 420-1355

浮洲園

うきうき館、開館!!

このたび、地域の交流スペースがオープンします! その名も“うきうき館”。粒江地区の民家を借りて、あそび・まなび・つどい・わらい・自由にごせる地域の家として地域の皆様へ無料でご利用いただけます。移動しやすいようになっています。手すりやスロープもつけ、移動しやすいようにしています。例えば、交流会、おじさん会、団体会議、趣味の集まり、お食事会、女子会、サロン、教室などを想定していますが、自由な発想でご活用ください。4月2日にはオープンイベントがありますので、ぜひお越しください。

(運営主体: 粒江地区社協、特別協賛: 浮洲園)



こちら改修前。どうなるか楽しみです!



《うきうき館地図》



お問い合わせや詳しいことは、下記までお電話下さい。

高齢者総合福祉施設 浮洲園 UKISUEN
TEL. (086) 429-3311
FAX (086) 429-3314
http://www.ukisuen.com

- 施設概要
- ◆特別養護老人ホーム (短期入所事業)
- ◆ショートステイ
- ◆デイサービスセンター
- ◆ケアハウス (軽老人ホーム)
- ◆在宅介護事業 (ケアプラン作成)
- ◆グループホーム
- ◆倉敷市委託事業 (ケアプラン作成)
- ◆倉敷市委託事業 (倉敷市委託事業)



グループホーム

萌 もえ

あなたのふるさと

指定認知症対応型
共同生活介護事業所

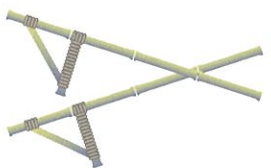
TEL. (086) 424-1165 FAX. (086) 426-6505
(URL) http://www.moe2003.net (E-mail) info@moe2003.net
〒710-0035 岡山県倉敷市黒石 377-1



はじめの会



こまの紐の巻き方



1年生の生活科「きせつ」とも
だち」の単元に、昔の遊び（伝承
をお招きし、「〇〇名人さんど
遊び）のよさを実感し、家族や地
域の人と触れ合う学習がありま
開いています。今年度も26名の名
人さんをお招きして、こ
ま回し、竹馬、竹トン
ボ、風揚げ、ビーム、メ
ソコなどを教わりまし
た。「こまがすつかり上
手になったよ。ひもを巻
くのが難しかったけど、
名人さんが教えてくれ
て、できるようになった
よ。」「こまを回すときは
後にぐっと引いてすれば

できるよつになつたよ！
〜粒江小昔遊びの会〜
粒江小学校1年2組担任 渡辺 智子

ひと粒

Tsubue Community News

hito
tsubu

第35号

2017.3/25

発行
粒江学区コミュニティ協議会



できると
分かったよ。「1名
人さんに
風の揚げ
方を教え

1年に1回しか開催されない「ふ
れあいフェア」が、今年度25回を
迎えることができました。これを
会で検討した結果、「老若男女に喜
んでもらえるもの」になり、昔か
ら建前などの祝い事に行われる「餅
まき」そして「迷路」で楽しんで
いただくこと決まりました。
迷路は、80cm角に高さが150
cmの段ボール箱に穴を開け、120
個を連ねて作ってみました。多くの
子どもたちが楽しく迷路をめぐっ
てくれました。
餅まきは、紅白餅を2000
袋、そして子ども用に、お菓子
300袋を用意しました。私も役
目柄、舞台から投げさせていただ
きました。子どもの部では、初
めて餅まきを経験する子どもも多
く、また、大人の部でも久しぶり
の餅まきに子どもの時に返ったよ
うにはしゃいで、この行事に参加し
てくださいました。主催者側の一員
として大変うれしく思っています。
この記念イベントに、多数の地元



竹トンボ



終わりの会で「おちやらかほい」を一緒に

多くの人に喜んでもらいたい 〜粒江ふれあいフェア〜

粒江学区コミュニティ協議会 事務局長 吉田 澄利



迷路

企業等の皆様のご協力をいただき、
特に迷路では、第1紙工さんに、餅
まきでは、浮洲園さん、中央建設さ
んに多額のご援助をいただきました。前
りがどうございました。また、前
日から迷路を組み立てていただき
ました皆様にもお礼申し上げます。
ありがとうございました。

子ども見守り ご協力のお願い

子ども見守り隊長 武田 鉄夫

私達は、粒江小学校の子ども達
の見守り活動(登下校の安全確保)
を行っています。特に、登校時に、
主要な交差点などで見守り活動を
していただく隊員が少なく、子ども
達の安全確保が難しくなっています。
男女を問わず、私達と
一緒に見守り活動をやってみませ
んか。ご協力をいただける方は、
武田までご連絡をお願いします。
090-17374-17577

粒江小学校校長 鷺見 京子

粒江での思い出を胸に 〜走り続けた7年間〜



「山笑う」とは、まさに今頃、
3月の粒江の山々を言うのではな
いかと、校長室の窓から、芽吹
き、花ほころん
だ山々を見上げ
ています。私は、
平成21年4月1
日、新任教頭と
して粒江小学校
に赴任しまし

た。前任校で5年生を担当してい
て、いきなり教頭での着任。分か
らないことだらけで、地域、保護
者の皆様にご迷惑をかけながら、
校内を小走りで動き回っていたよ
うに思います。1年目の夏に第1
回粒江ふれあい夏祭りが立ち上が
り、地域の方々と大汗をかきなが
ら準備に追われ、運動場をこま
た走り回りました。学校を会場と
しての数々の地域イベントは、子
どもたちの心を豊かに育みました。
4年間教頭として勤務した後、
1年間の葦高等学校勤務を経て、
3年前に粒江小の校長として戻っ
てまいりました。計7年間、登下
校の見守り、読み語りボランティア
ア、昔遊び、家庭科(ミン、調理)、
校外学習の引補助、栗山の下草
刈り等々、地域の力を頂いての学
校教育の推進は、粒江小に少す
つ変化をもたらしました。以前に
も増して粒江が大好きで、落ち着
いて学習し、友達と助け合い、下
級生を思いやる子どもたちでい
っぱいの学校となりました。

もうすぐ私の教員生活最後の卒
業式を迎えます。1年生から見
守った子どもたちに卒業証書を手
渡すことができるのは、この上な
い幸せです。地域の皆様、7年間
本当にありがとうございました。
粒江地区のさらなるご発展を心よ
りお祈りしております。